

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月31日

上場会社名 全日本空輸株式会社  
コード番号 9202

上場取引所 東大  
本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.ana.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 大橋 洋治  
問合せ先責任者 役職名 総務部長 氏名 相馬 一孝 TEL (03)6735-1001

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有  
一部簡便的な方法を採用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有

平成15年3月期比 連結（新規）：-社、（除外）：3社 持分法（新規）：-社、（除外）：-社

## 2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 百万円未満切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	259,627	-	28,651	-	27,368	-	18,324	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	1,215,909		2,597		17,236		28,256	

(注) 当第1四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第1四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	%
16年3月期第1四半期	1,436,905	104,941	7.3
15年3月期第1四半期	-	-	-
(参考)15年3月期	1,442,573	121,954	8.5

(注) 当第1四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第1四半期については記載しておりません。

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	17,176	37,618	16,656	119,992
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	85,952	52,478	63,364	158,121

(注) 当第1四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前第1四半期については記載しておりません。

## 3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

連結業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

## 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

### 経営成績

#### 当第1四半期の概況

当第1四半期の国内経済は、依然として景気回復の足どりが鈍く低調なまま推移しました。さらに、重症急性呼吸器症候群（SARS）の世界的な流行は、当社グループの主力である航空運送事業をはじめ、旅行、ホテル事業にも深刻な影響を及ぼしました。この結果、コスト削減計画は順調に進行しているものの連結経営成績は減収減益となり、当第1四半期は183億円の純損失となりました。

事業別の業績の概況は以下のとおりです（なお、各事業における売上高はセグメント間内部売上高を含んでおります）。

#### 【航空運送事業】

国内線旅客は、引き続き景気低迷に加え、ゴールデンウィーク期間の曜日配列の影響もあり、主に個人旅客が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ88億円の減収となりました。

国際線旅客は、イラク戦争が短期に終結したことから、欧州線のビジネスクラス旅客数が前年同期並みの実績を確保するなど、一部で回復の兆しが見られたものの、SARSの影響により中国線を中心に需要が大幅に減少した結果、売上高は前年同期に比べ126億円の減収となりました。

こうした中で、国際線において中国・アジア路線を中心に減便・休止・機材小型化を図るとともに、需要の堅調なソウル線を増便するなど、需要の変化に対応すべく柔軟な生産調整を行いました。国際線貨物においては貨物臨時便の設定や搭載スペースの拡充等により9億円の増収となりました。

航空運送事業の売上高は前年同期に比べ199億円の大幅な減収となり、営業損失279億円となりました。

#### 【旅行事業】

国内旅行については積極的な需要喚起に努めた結果、前年同期を上回る実績を確保しましたが、一方で海外旅行においてはイラク戦争やSARSによる深刻な需要減退の影響を受け、大幅な減収となりました。この結果、旅行事業の売上高は前年同期に比べ31億円の減収となり、営業損失6億円となりました。

#### 【ホテル事業】

当第1四半期は25億円の減収となりましたが、前年に売却し連結除外した海外2ホテルの影響額を控除すると、実質9億円の減収となりました。消費の不振に加えSARSによる海外渡航者および外国人入国者の減少が影響し、宿泊・宴会・料飲部門ともに前年同期を下回る売上高となり、営業損失6億円となりました。

#### 【その他事業】

SARSの影響により、主として国際航空予約・発券システムを提供している子会社の収入が半減したことに加え、免税品販売事業についても影響を受けた結果、売上高は前年同期に比べ3億円の減収となりましたが、それ以外の事業においては堅調に推移したことから営業利益3億円を確保しました。

### 財政状態

当第1四半期は282億円の税金等調整前当期純損失となり、減価償却費等の非資金項目の調整を行った結果、営業キャッシュ・フローは171億円のフローアウトとなりました。投資キャッシュ・フローでは航空機を中心とする設備投資を行い376億円のフローアウト、フリー・キャッシュ・フローは547億円のフローアウトとなりました。財務キャッシュ・フローでは社債を中心とした資金調達と借入金の返済を行い166億円のフローイン、結果として手元資金は381億円減少し期末残高は1,199億円となりました。

これらの結果、バランスシートでは航空機を中心とした固定資産が平成15年3月期と比較して263億円増加、流動資産の手元資金（現預金及び有価証券）が324億円減少し、有利子負債（借入金及び社債）は182億円増加しています。

株主資本につきましては、当第1四半期の純損失計上の結果170億円減少しており、総資産は56億円減少となりました。

## ( 1 ) 要約連結損益計算書

( 単位：百万円 )

科 目	平成15年度 第1四半期	【ご参考】 平成14年度 第1四半期	【ご参考】 増 減
	自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	自平成14年4月1日 至平成14年6月30日	
・ 営業収入	259,627	280,955	21,328
・ 事業費	234,220	233,169	1,051
・ 販売費及び一般管理費	54,058	60,775	6,717
営業利益	28,651	12,989	15,662
・ 営業外損益	1,283	3,251	4,534
1. 金融収支	4,971	5,450	479
2. その他	6,254	2,199	4,055
経常利益	27,368	16,240	11,128
・ 特別損益	855	1,958	1,103
税金等調整前当期純利益	28,223	18,198	10,025
法人税等	9,917	6,239	3,678
少数株主損益	18	163	181
当期(四半期)純利益	18,324	11,796	6,528

(注) 前第1四半期は参考値として記載しております。なお、前第1四半期は持分法損益を計上しておりません。

## ( 2 ) 要約連結貸借対照表

( 単位：百万円 )

科 目	平成15年度 第1四半期	平成14年度	増 減
	平成15年6月30日	平成15年3月31日	
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	323,595	355,996	32,401
現預金及び有価証券	120,600	157,334	36,734
営業未収入金	93,402	94,435	1,033
たな卸資産	58,451	55,803	2,648
その他	51,142	48,424	2,718
固定資産	1,112,237	1,085,905	26,332
有形固定資産	866,269	851,044	15,225
無形固定資産	42,059	42,679	620
投資その他の資産	203,909	192,182	11,727
繰延資産	1,073	672	401
資 産 合 計	1,436,905	1,442,573	5,668
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	341,469	317,938	23,531
支払手形及び営業未払金	112,539	126,911	14,372
短期借入金、一年以内に償還する社債 及び一年以内に返済する長期借入金	117,751	83,916	33,835
その他	111,179	107,111	4,068
固定負債	981,082	992,375	11,293
社債及び長期借入金	845,886	861,479	15,593
退職給付引当金	111,106	106,780	4,326
その他	24,090	24,116	26
負 債 合 計	1,322,551	1,310,313	12,238
少 数 株 主 持 分	9,413	10,306	893
<b>【資本の部】</b>			
資本金	86,239	86,239	-
資本剰余金	52,588	104,228	51,640
利益剰余金	34,072	67,388	33,316
その他有価証券評価差額金	1,515	223	1,292
為替換算調整勘定	372	404	32
自己株式	957	944	13
資 本 合 計	104,941	121,954	17,013
負債、少数株主持分及び資本合計	1,436,905	1,442,573	5,668

## (3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成15年度 第1四半期	【ご参考】 平成14年度 第1四半期
	自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	自平成14年4月1日 至平成14年6月30日
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は損失( )	28,223	18,198
減価償却費	15,675	14,826
その他	4,628	16,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,176	13,033
. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	58,661	20,722
有形固定資産売却による収入	24,052	9,791
無形固定資産取得による支出	1,655	3,814
その他	1,354	4,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,618	10,452
. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減(減少： )	9,315	5,241
長期借入による収入	1,900	2,200
長期借入返済による支出	22,895	21,941
社債発行による収入	29,823	-
その他	1,487	203
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,656	14,703
. 現金及び現金同等物の換算差額	9	788
. 現金及び現金同等物の増減額(減少： )	38,129	12,910
. 現金及び現金同等物の期首残高	158,121	188,648
. 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額	-	-
. 現金及び現金同等物の期末残高	119,992	175,738

(注) 前第1四半期は参考値として記載しております。

#### (4) セグメント情報

平成15年度第1四半期(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	193,747	27,834	13,008	25,038	259,627	-	259,627
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	16,441	3,634	2,950	15,584	38,609	(38,609)	-
計	210,188	31,468	15,958	40,622	298,236	(38,609)	259,627
営業費用	238,161	32,151	16,615	40,311	327,238	(38,960)	288,278
営業利益	27,973	683	657	311	29,002	351	28,651

#### 【ご参考】

平成14年度第1四半期(平成14年4月1日～平成14年6月30日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	211,698	30,573	15,259	23,425	280,955	-	280,955
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	18,406	4,092	3,200	17,571	43,269	(43,269)	-
計	230,104	34,665	18,459	40,996	324,224	(43,269)	280,955
営業費用	243,455	35,239	18,409	40,304	337,407	(43,463)	293,944
営業利益	13,351	574	50	692	13,183	194	12,989

(注)前第1四半期は参考値として記載しております。

(5) 航空運送事業の売上高の内訳及び輸送実績

【売上高の内訳】

(単位：百万円)

区 分		事業年度	平成15年度 第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	【ご参考】 平成14年度 第1四半期 自平成14年4月1日 至平成14年6月30日	【ご参考】 増 減
航空運送事業	国内線	旅客収入	139,541	148,346	8,805
		貨物収入	6,100	5,860	240
		郵便収入	2,166	2,538	372
		手荷物収入	66	67	1
		小 計	147,873	156,811	8,938
	国際線	旅客収入	32,173	44,870	12,697
		貨物収入	10,479	9,571	908
		郵便収入	775	712	63
		手荷物収入	144	161	17
		小 計	43,571	55,314	11,743
	航空事業収入合計	191,444	212,125	20,681	
	その他の収入	18,744	17,979	765	
	合 計	210,188	230,104	19,916	

- (注) 1. 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。  
2. 前第1四半期は参考値として記載しております。

【輸送実績】

区 分		事業年度	平成15年度 第1四半期 自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	平成14年度 第1四半期 自平成14年4月1日 至平成14年6月30日	前年同期比 (%)
国内線	旅客数(人)		10,323,319	10,645,187	97.0
	座席キ口(千席キ口)		15,849,108	15,187,626	104.4
	旅客キ口(千人キ口)		8,844,592	8,996,088	98.3
	利用率(%)		55.8	59.2	3.4
	貨物輸送重量(トン)		95,731	91,969	104.1
	貨物輸送量(千トンキ口)		92,872	89,001	104.3
	郵便輸送重量(トン)		15,987	18,580	86.0
	郵便輸送量(千トンキ口)		17,369	19,041	91.2
国際線	旅客数(人)		566,535	871,975	65.0
	座席キ口(千席キ口)		5,935,097	6,618,876	89.7
	旅客キ口(千人キ口)		3,245,743	4,514,495	71.9
	利用率(%)		54.7	68.2	13.5
	貨物輸送重量(トン)		56,897	44,944	126.6
	貨物輸送量(千トンキ口)		256,348	239,137	107.2
	郵便輸送重量(トン)		3,048	2,492	122.3
	郵便輸送量(千トンキ口)		14,393	12,929	111.3

- (注) 1. 国内線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + エアー北海道(株) + (株)エアーニッポンネットワーク  
2. 国際線 = 全日本空輸(株) + エアーニッポン(株) + (株)エアージャパン  
3. 国内線、国際線ともにチャーター便を除いております。  
4. 国際線の旅客数、座席キ口、旅客キ口、利用率については、速報値を用いております。